



た。wellnoteは、ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)の仕組みを使い、医師が発信する健康情報などを家族間で共有できるパーソナル・ネットワーキング・サービス(PNS)です。

近年、核家族化や独居の高齢者の増加が深刻な問題となっています。子育て世代の若い夫婦は、離れて住む高齢の両親の健康状態を常に気にかけたり、子どもが急に発熱してもすぐに相談できる相手が近くにいないといった不安を抱えています。

一方で先般の東日本大震災では、フェイスブックやツイッターなどのSNSが、友人同士の安否確認や迅速な情報交換などに使われました。しかし、こうしたSNSは家族間ではあまり使われていません。wellnoteは、医療従事者が感染症の流行状況や生活習慣改善のコツといった健康情報を専用ページで配信。一般の家族は、ツイッターのように流れるそれらの情報のほか、写真やコメントを家族だけが見られる環境で共有できます。

オープン以来、20歳代後半から30歳代の夫婦を中心に利用が広がっています。医師からの糖尿病に関する健康情報を、30歳代の娘が60歳代の糖尿病の父親とシェアしたところ、その父親が急に食生活や生活習慣に気を付け始めたという報告も出始めています。

現在までにこうした理念に共感し登録してくださった医療従事者は100人近くに上ります。情報配信はボランティアですが、名前や勤務先を公開してつぶやけば、増患のためのマーケティングツールにもなると考えています。

ウェルスタイル株式会社
代表取締役社長 谷生 芳彦

健康情報を共有して 家族をつなぐツールを開発

私は今年7月、家族間のコミュニケーションツール「wellnote(ウェルノート)」(<http://wellnote.jp>)をオープンしまし